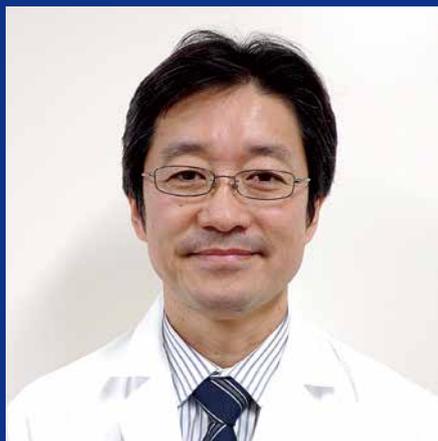


あけまして
おめでとうございます



副病院長 山城 隆

私は歯学部附属病院で院内感染対策を担当しております。感染対策という怖いイメージがあるかもしれませんが、その活動の多くは日常の感染予防です。当院では、歯科医師、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員といった様々な職種からなる院内感染対策チームが実働部隊となって、病院に関わる全ての人々を院内感染から守るための感染対策活動を実施しています。具体的には、院内ラウンド（外来診療室・入院施設等の巡回）や、感染管理のためのサーベイランス（調査）を定期的実施しています。また、全国の病院と情報を共有しながら、歯科治療や口の疾患の特性に配慮した感染対策と感染予防を実施しています。しかし、感染対策において最も基本的で重要なものは、手指の洗浄です。院内でもその徹底を図っています。皆様におかれましては、御自身のため、他の患者さんのためにも食事の前やトイレの後、病室の出入りの時は是非、手洗いを行って頂きたいと思っております。特に、冬は感染症の季節です。手洗いを通じて皆様にとって健康な一年が始まることを願っています。

内面

● 特集 1.

「第17回 年末 ふれ愛コンサート」開催
「第14回 市民フォーラム」開催

● 特集 2.

Science café

@ 大阪大学歯学部附属病院 vol.4

● 特集 3.

歯周組織再生剤

(リグロス[®] 歯科用液キット) 誕生!!

お口の相談コーナー

お口のマメ知識

裏面

● 2016年 10~12月の統計情報

● 病院概要



特集 1-1

「第17回 年末ふれ愛コンサート」を開催

平成28年12月9日(金) 歯学部F棟5階弓倉記念ホール



村上伸也病院長
開催の挨拶

1番目は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®からスペシャルゲストが登場! セサミストリートの人気キャラクター、エルモとクッキーモンスター、そしてサンタさん、トナカイさん!!

その後、診療科の先生方によるパフォーマンスが行われました。



最後は、出演者全員で「見上げてごらん夜の星を」を合唱!

今年もガンバ大阪のグッズ抽選会を開催! 選手のサイン入りユニフォームとサッカーボールをご提供いただき、患者さんにプレゼントしました。



コンサートは大盛況のうちに閉会しました。



山城副病院長
終わりの挨拶

特集 1-2

「第14回 市民フォーラム」を開催

平成28年11月19日(土) サイエンスホール(千里ライフサイエンスセンター5階)

本フォーラムは、最新の歯科治療および歯科医学について、広く市民へ情報を発信し、市民の健康増進と歯学知識の向上を図ることを目的に毎年開催しています。今回は「『食べる』『くらす』『いきる』健口がささえる健康長寿」をテーマに開催しました。

当日は、会場がほぼ満席となる約200名の方に参加していただきました。天野敦雄研究科長の

挨拶の後、今回のテーマに基づいて歯学研究科の教員ら5名が講演を行いました。講演後の総合討論では、活発な質疑応答が行われ、最後に、村上伸也病院長からの挨拶があり、フォーラムは盛況のうちに閉会いたしました。



特集 2

気軽におしゃべりサイエンス Science café@大阪



自分の「健口」、自分で守る。

サイエンスカフェは、大阪大学が主催する「気軽におしゃべり」がコンセプトの催しです。毎回、話題提供者が様々な大学の研究についてお話しします。難しい話はありません。美味しい飲み物とお菓子をお供に、好奇心と、ゆっくりおしゃべりを楽しむ気持ちと一緒に金曜日の夕方を楽しむ会です。今回は口の健康(健口)と健康長寿の密接な関係についてお話をさせていただきました。

健康長寿の3本柱は「食べる」、「運動」、「社会参加」です。この3本柱を健口が支えています。美味しく食べ、快適に暮らし、健康に生きる健康長寿のために、健口は欠かせません。

「50歳を過ぎたら粗食はやめなさい。」と言われていました。低栄養が老化を早めるのです。「噛めない」→「柔らかい食品」→「噛む機能の低下」→「食欲の低下」の悪循環に陥ると虚弱(フレ



「病気ではないのに口が臭う?」

お口の相談
コーナー



写真1



1. 口臭が気になる

「口臭がするのでは?」と感じられたことはないでしょうか。近年の清潔志向の高まりから口臭が気になる人は増加傾向にあります。厚生労働省の平成11年保健福祉動向調査によれば、「口臭に悩んでいる」人は14.5%もいました。また、日常生活や職場におけるコミュニケーションの不調和の原因は口臭であると思っている方も増えています。

2. 口臭の原因は?

口臭は揮発性硫化物という臭い物質が原因で、「病的なもの(病的口臭)」と「生理的なもの(生理的口臭)」に分けることができます。「歯がグラグラ

したり」、「歯ぐきから血が出る」歯周病や「歯に穴があいている」むし歯などが病的口臭の原因で、口臭の改善には専門的な治療が必要です。一方、生理的口臭は特別な治療は必要ではありません。「口が乾く」「日常的にストレスを感じる」「舌の表面が白い」などの状態が生理的口臭の原因となります(表1)。

3. 生理的口臭の対策方法は?

全ての人がかつ生理的口臭ですが、「唾液」と「舌苔」へのアプローチで改善することが出来ます。唾液の分泌量が少ないとにおいが強くなることから、「よく噛んで食事」「唾液腺マッサージ」「丁寧な歯磨き」を行うことで、唾

予防歯科 外来医長 関根 伸一

液腺を刺激し唾液の分泌量を増やすことができます。また生理的口臭の最大の発生源は「舌苔」ですので、「舌ブラシを用いた舌掃除」も非常に効果的です(写真1)。

口臭が気になる方は担当医に相談して下さい。

表1 生理的口臭の原因チェック項目

- 口がかわく
- 日常的にストレスを感じる
- 舌の表面が白い
- 歯ぐきから血が出る・腫れる
- 歯がグラグラする
- 歯や詰め物がザラザラしている
- 歯に穴が開いている

特集 3

歯周組織再生剤 (リグロス® 歯科用液キット) 誕生!!

口腔治療・歯周科 科長 村上 伸也
副科長 北村 正博



図1 リグロス® 歯科用液キット
(科研製薬ホームページより)

昨年の12月に歯周組織再生剤「リグロス® 歯科用液キット」(図1)の販売が開始されました。「リグロス®」は組換え型ヒト塩基性線維芽細胞成長因子 (FGF-2) を有効成分とする世界初の歯周組織再生医薬品です。

FGF-2は強力な血管新生作用と歯の周りに存在する様々な細胞に対する増殖促進作用を持っています。そのため、歯周炎により歯の周囲の組織(歯周組織)が失われてしまった部位に投与すると、これらの作用により、歯槽骨、セメント質、歯根膜などの歯周組織が再構築されて歯周組織の再生が促進されます(図2)。この「リグロス®」の開発には、当院が深く関わってきました。当院の口腔治療・歯周科と「リグロス®」の製造販売元である科研製薬株式会社は「リグロス®」の開発を目指し、動物実験や試験管内での実験を25年以上前から共同で行ってきました。そして、それらの

実験でFGF-2が有する歯周組織再生作用の確認を経て、当院をはじめとする多くの病院に来院された約1000名もの歯周炎患者様にご参加いただき何度も臨床治験を繰り返して、実際の患者様に対する歯周組織再生効果の確認と安全性の検証を行いました。この紙面をお借りし、ボランティアとしてご協力いただいた患者の皆様には感謝申し上げます。

これまでに、歯科だけではなく医科領域においても組織再生を効能とする医薬品は登場していませんので、「リグロス®」の登場は医学分野において画期的なものと言えます。「リグロス®」は全ての歯周炎患者の方に使用できるわけではありませんが、健康保険の適応となりますので、当院の担当医にご相談下さい。世界初の歯周組織再生医薬品「リグロス®」が歯周炎治療の新たな選択肢となることが期待されます。

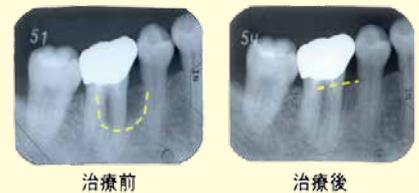


図2 FGF-2投与による歯周組織再生

大学歯学部附属病院 vol.4 が開催されました。

予防歯科 科長 天野 敦雄

～ 21世紀の歯科医療～

イル)への坂を下り、寝たきりに向かいます。

人類史上最大の感染症である歯周病は健口と健康長寿をおびやかします。日本人成人の歯周病罹患率は77%です。歯周病は歯を無くし、食べられなくなる最大の原因であるとともに、不快な口臭は人を遠ざけます。さらに、歯周病は心臓病、動脈硬化、糖尿病、肥満などの生活習慣病の発症・悪化に関係するばかりではなく、関節リウマチ、早産、低体重児出産などの原因になっていることが判ってきました。

歯周病は防げますし、治せます。今回は、歯周病についての知識を深めて頂きました。「口」の健康のみならず、全身の健康増進に役立てて頂けたかと思えます。百歳まで健康で生きられる御予定の方は、是非、健口に気を配っていききたいと思います。

2016.12.9(金) 歯学部附属病院1階 CAFÉ de CRIÉ



「第一大臼歯のむし歯予防」

小児歯科 外来医長 大川 玲奈

お口の
マメ知識



第一大臼歯は、6歳頃に乳歯の奥から生えてくるため、**6歳臼歯**と呼ばれることもある**永久歯**です。咬む力が一番強く、咬み合わせの中心となるとても大切な歯です。しかし、咬み合わせの溝が深いことや、生えてくるのに時間がかかるので汚れが溜まりやすいです。また、乳歯の後ろから生えてくるので歯磨きが難しいことや、生えたての歯のため歯の質が未熟であることなどの理由から、とても**むし歯になりやすい**歯です(写真1)。



写真1
生えかけの第一大臼歯(汚れをピンクに染めると、溝の部分に汚れが残っていることが分かります。)

この大切な第一大臼歯のむし歯予防として、小児歯科では**フッ化物の塗布**と**フィッシャーシーラント**をお勧めしています。フッ化物は歯の質を強くし、特に歯の質が未熟な永久歯ではフッ化物を取り込みやすいので効果的です。ご家庭でフッ化物を配合した歯磨き粉やジェルを使っていたくともお勧めします。また、フィッシャーシーラントは、咬み合わせの溝の深い部分にフッ化物を含有したセメントやプラスチックを流し込むこと



によって溝をふさぐ方法です(写真2)。

写真2
シーラント後

歯の溝をきれいに清掃してから、生えかけの時はセメントで仮づめし、完全に生えた後はプラスチックを用いて溝をふさぎます。歯を削る詰め物とは違いますので、永久的な効果はありません。欠けたり、取れたりしていないか、定期的なチェックが必要です。さらに、第一大臼歯専用の歯ブラシを用いた保護者の方による仕上げ磨きもむし歯予防に有効です。

もちろん、第一大臼歯が生えてくるまでに、乳歯のむし歯があれば、しっかりと治療して、お口の中の環境を整えることが大切です。小児歯科では、お子さんのお口の成長発育に応じたむし歯予防を行なっていますので、**担当医にお気軽にご相談ください。**

10月～12月患者数等統計

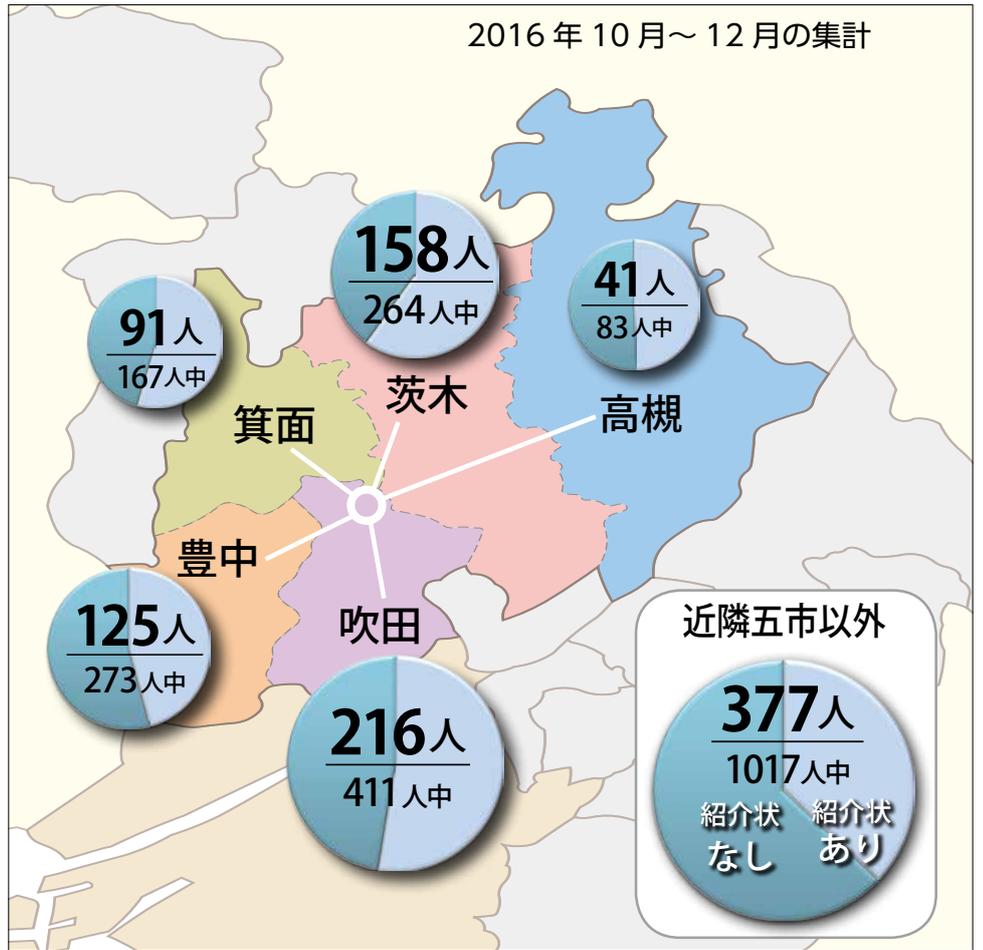
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）

【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

看護師募集中！

—お問合せ—
歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで